

## 第1回 令和6年6月17日

- 部会長(松沢英志郎)・副部会長(吉川健一郎)を選任
- 検討の趣旨及び他地域の制度・状況等を確認

## 第2回 令和6年9月26日

- 北アルプス北部山域連絡会において、令和7年度に「北アルプストレイルプログラム」を導入することが決定したことを受け、白馬村独自の登山協力金は導入しない方針を決定。

### ※北アルプス北部山域連絡会

糸魚川市・大町市・白馬村・小谷村の2市2村の山岳関係者、国・県・市町村の関係機関で構成。

## ■ 北アルプス トレイルプログラム

- 環境省(中部山岳国立公園管理事務所)が主体となり、登山道の維持を目的として、登山者から任意の協力金を募る制度。
- 1口500円としているが、金額や回数は任意でとしている。
- 山小屋の収受箱やオンラインでのカード決済、銀行振込等で支払可能。
- 山岳利用の歴史や地域の特性、関係者の関わり方によって管理者や維持の方法が異なるため、山域(エリア)ごとに制度を導入。
- 南部(松本市・安曇野市)、岐阜県・富山県は令和6年度に導入済みであり、北部地域のみ未導入。
- 協力金の具体的な用途は地域協議会(山域連絡会)で決定する。

